



花き生産情報第4号

平成28年7月20日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

換気や遮光をこまめに行うなど、ハウス内の温湿度管理を徹底しましょう！
切り花の品質保持のため、収穫は涼しい時間帯に行いましょう！

夏秋ギク

1 生育状況

生育は概ね順調で、7月に出荷する作型の収穫が始まった。
病害虫では、白さび病、アブラムシ類等の発生が散見される。

表1 夏秋ギクの生育状況（7月11日現在）

場所	年次	品種	定植月日 (月日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	備考
新郷村	本年	精の一世	4月18日	109.8	51.8	無摘心
	前年	精の一世	4月15日	112.1	57.8	無摘心
	一昨年	精の一世	4月19日	107.2	56.7	無摘心
平川市	本年	岩の白扇	4月30日	95.0	38.7	2本仕立て
	前年	岩の白扇	5月2日	91.8	49.6	無摘心
	平年	岩の白扇	4月26日	97.4	47.5	無摘心

(注) 平川市の平年値：平成20年～27年の平均値

2 今後の作業

(1) 病害虫の防除

白さび病は、発蕾時から発生しやすくなるので、換気をこまめに行い、予防散布を徹底する。

アザミウマ類、ヤガ類、ハモグリバエ類、ハダニ類の発生に注意し、早期発見・早期防除に努める。

(2) 収穫

収穫適期は3分咲きを目安とするが、出荷先により異なるため、事前に確認する。

露地栽培で降雨後に収穫した場合には、輸送中の腐敗を防ぐため、十分に風乾してから箱詰めする。

秋ギク

1 生育状況

定植後の生育は概ね順調である。
病害虫の発生は見られない。

2 今後の作業

(1) かん水

活着までは葉水(はみず)程度の量をこまめに行い、活着後は土の乾燥状況を見ながら行う。

(2) 温度管理

換気や循環扇、寒冷紗等を活用し、ハウス内の温度が日中25℃以上にならないように管理する。

(3) 病虫害防除

夏秋ギクに準ずる。

トルコギキョウ

1 生育状況

生育は概ね順調である。

病虫害では、ヤガ類、アザミウマ類の発生が散見される。

表3 トルコギキョウの生育状況(7月11日現在)

場所	年次	品種	定植月日 (月日)	草丈 (cm)	節数 (節)
青森市	本年	はるか	4月1日	39.0	13.3
	前年	はるか	4月11日	29.3	13.4
	一昨年	シュークリーム	4月3日	43.1	13.1
田舎館村	本年	セブピンク	4月26日	47.3	13.2
	前年	セブピンク	4月24日	51.4	13.4
	一昨年	セブピンク	4月19日	49.9	13.4

2 今後の作業

(1) かん水

発蕾前は十分にかん水し、発蕾後は茎葉が軟弱徒長しないようにかん水量を減らす。また、茎折れの原因となるので、1回のかん水量が多くならないよう注意する。

(2) 温度管理

換気や循環扇、寒冷紗等を活用し、ハウス内の温度が日中25℃以上にならないように管理する。

(3) 病虫害の防除

灰色かび病やアザミウマ類、ヤガ類の発生が多くなる時期なので、予防散布を実施する。

(4) 整枝作業

不要な蕾は早めに摘み取り、草姿が良好になるように仕立てる。

(5) 収穫

品質保持のため、涼しい時間帯に収穫する。また、前処理剤を使用すると日持ちが数日延長する。

花き生産指導情報第5号は平成28年8月18日発行の予定です。

農作業中の熱中症に注意しましょう！

～熱中症の予防には「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です～

決め手は土づくり！「日本一健康な土づくり運動」展開中！

農薬危害防止運動を展開中(5月1日～8月31日)